

「ワクワク感」抱かせて

中小企業が採用したくなる人材とは…

同友会の荒田求人担当委員に聞く

会社訪問 時に強引さもOK

最近の学生の印象
—— 羽詰まった感がなく、何
はいかがですか。

「概には言えないもの
の女性の方が真剣。」こ
こでチャンスを見逃したら
正社員で働けない」とい
う危機感があるが、男性
は将来何をしたいのか見
えていない人も多い。切
むべきでしょうか。

—— 将来の目標を決めてい
る人は目の輝きや話への
食いつき方が違うのです
く分かる。進みたい方向
性がある。

—— 就活は恋愛と同じ。口
説き落とすには相手がか
うしたら喜んでくれるか
考えます。思いをどう上
手に伝えられるか。成績
なんかより「経営者とし
てこいつを育ててみた
い」「何かやってくれそ
うだ」という「ワクワク
感」を抱かせる人です。

—— 会社訪問も「もう一回
行ってもいいですか」「こ
こも見学させてほしい」
と2度、3度行けばいい。
「どうしても入社したい。」

—— 社長に会わせてもらえま
せんか「くらいの強引な
ことを言ったっていいと
思う。若いからこそでき
ることです。」

—— 中小企業で働く魅
力とは何ですか。
何でもないならばなら
ないので社会人として筋
肉質になれる。経営者と
の距離も近く、会社がど
こに向かおうとしている
のかも見えやすいので、
「自分が社長とともに会
社を大きくしていくん
だ」と腹をくくれば、や
がて会社を支える柱にな
れる。ホームマックだっ
て二トリだった。最初はみ
んな中小でした。

—— 目標を決めた上
で、どんな企業を選べば
いいでしょうか。
中小企業の中には情報
開示がまだ十分ではない
会社もあります。会社訪
問は積極的にやるべきで
す。出迎え方一つでも会
社の雰囲気や社風は推し
量れる。

—— 会社の規模よりも経営
者がどんな人の方が重
要。私は自ら説明会に出
て学生と話しますが、経
営者が前面に出てくる会
社は新卒受け入れ態勢が
比較的できていることが
多い。

—— 東日本大震災が採
用計画に影響するので
は、どの懸念もあります。
「コスト削減してはいけ
ないものがある。新卒採
用です。時間をかけても
自ら育て、生き残って
くれた社員は強く、中小
では会社を支える社員に
育つ。震災の影響があっ
ても、新卒1人や2人の年
収分くらい、社長自ら稼
いで来るとい強い思い
の経営者がさらに増える
といいと思います。

—— 企業側からすると、本
当に雇いたいと思う人が
少ないのも、中小では事
実なんです。厳しい中で
も、就活に勝ち抜く人は
勝ち抜く。真剣に、強い
意志で、粘り強く。シン
ブルに考えて臨めば案外
勝てる。多くの人がエン
トリーする有名企業が難
しいなら、進みたい方向
に合った中小企業を何社
かピックアップし、猛攻
撃をかけるのも一つの手
ではないでしょうか。



「進みたい方向性を描き、強い思いで臨めば道は開ける」と就活中の学生にエールを送る荒田社長

来春卒業の学生らを主な対象にした北海道中小企業家同友会（5566社加盟）の合同企業説明会が26日、札幌で開かれる。雇用情勢が厳しい中で中小企業に目を向ける新卒者が増え、参加者数は高い水準で推移しているという。中小企業が採用したくなるのはどのような人材なのか。中小企業にはどんな魅力があるのか。同友会の共同求人担当委員で札幌のサービスマネジメント「アスクゲートネクス」の荒田祐一社長（37）に聞いた。（天沼勲）

社長に会わせてもらえませんか「くらいの強引なことを言ったっていいと思う。若いからこそできることです。」
—— 中小企業で働く魅力とは何ですか。何でもないならばならぬので社会人として筋肉質になれる。経営者との距離も近く、会社がどこに向かおうとしているのかも見えやすいので、「自分が社長とともに会社を大きくしていくんだ」と腹をくくれば、やがて会社を支える柱になれる。ホームマックだって二トリだった。最初はみんな中小でした。
—— 目標を決めた上で、どんな企業を選べばいいでしょうか。中小企業の中には情報開示がまだ十分ではない会社もあります。会社訪問は積極的にやるべきです。出迎え方一つでも会社の雰囲気や社風は推し量れる。
—— 会社の規模よりも経営者がどんな人の方が重要。私は自ら説明会に出て学生と話しますが、経営者が前面に出てくる会社は新卒受け入れ態勢が比較的できていることが多い。
—— 東日本大震災が採用計画に影響するのは、どの懸念もあります。「コスト削減してはいけないものがある。新卒採用です。時間をかけても自ら育て、生き残ってくれた社員は強く、中小では会社を支える社員に育つ。震災の影響があっても、新卒1人や2人の年収分くらい、社長自ら稼いで来るとい強い思いの経営者がさらに増えるといいと思います。
—— 企業側からすると、本当に雇いたいと思う人が少ないのも、中小では事実なんです。厳しい中でも、就活に勝ち抜く人は勝ち抜く。真剣に、強い意志で、粘り強く。シンブルに考えて臨めば案外勝てる。多くの人がエントリーする有名企業が難しいなら、進みたい方向に合った中小企業を何社かピックアップし、猛攻撃をかけるのも一つの手ではないでしょうか。